

平成28年度 宮城県栄養士会 生涯教育 研修会報告

演習 演習必須2単位 4 4-9 4 4-10

①栄養管理のモニタリング・再評価 ②栄養管理記録

講師 (医) 永仁会 永仁会病院 診療技術部
栄養管理科長 瀬戸 由美 氏

平成28年12月4日 仙台市宮城野区榴岡のアゼリアヒルズ17F アゼリアホールにて今年度 第3回目の生涯教育研修会が開催されました。

今回は (医) 永仁会 永仁会病院 診療技術部 栄養管理科長 瀬戸 由美氏より「栄養管理のモニタリング・再評価」及び「栄養管理記録」について演習をしていただきました。

今年度最終回となる生涯教育でしたが、第1回目から連続して受講している方が多く、熱心に参加されていました。



初めに、栄養ケアプロセスの過程は①栄養アセスメント、②栄養診断、③栄養介入、④栄養モニタリングと評価と大きく4つの過程を経ていること、栄養状態のモニタリングと評価の

目的は、目標・期待される結果が達成されたかどうかを評価することであること等を再確認しました。



その後、グループ毎に症例についてSOAP (叙述的記録) を活用し分析し、栄養診断を行うという演習を繰り返し行いました。症例毎にS (主観的データ)、O (客観的データ)、A (アセスメント) 栄養アセスメント+栄養診断、P (計画) についてグループで検討し、P は、Mx モニタリング計画、Px 栄養治療計画、Ex 栄養教育計画に分けて分析をしました。また、栄養診断は、1つに絞り込むようにし、絞り込めない場合でも3つ以内にするよう検討するとともに、栄養診断は70種類の国際標準化された栄養診断から適する栄養診断コードNoと用語を選択しました。

参加者からは、今日学んだことを職場で実践していきたいという声が聞かれました。

(文責 庄子 聡子)